

平成17年3月期決算のお知らせ

三井不動産株式会社は、本日、平成17年3月期決算を確定しましたのでお知らせいたします。なお、詳細は決算短信をご参照ください。

連結決算のハイライト

◆ 連結業績概要

(単位：百万円)

	当 期	前 期	増減	(%)
売上高	1,111,359	1,102,844	8,514	(0.8%)
営業利益	115,764	109,246	6,518	(6.0%)
経常利益	94,637	87,236	7,400	(8.5%)
当期純利益	28,693	14,454	14,238	(98.5%)

- ◆ 当期は、前期比で増収増益。売上高は、同比85億円(0.8%)増の1兆1,113億円。営業利益は、同比65億円(6.0%)増の1,157億円。
- ◆ 経常利益は、同比74億円(8.5%)増の946億円となり、2期連続の過去最高益更新。
- ◆ 当期純利益は、固定資産に係る減損会計を早期適用し減損損失338億円を特別損失として計上したが、同比142億円(98.5%)増の286億円。
- ◆ 「賃貸」は、「日本橋一丁目ビルディング(COREDO日本橋)」、「ららぽーと甲子園」など、オフィスビルや商業施設の新規通期稼働により増収したが、既存資産の建替・売却・リニューアル推進による影響もあり、微減益(4億円)。首都圏オフィスビル(単体)の当期末空室率は3.0%。前期末の4.4%から改善。
- ◆ 「分譲」は、住宅分譲でマンション・戸建合計5,806戸を計上。また、当社が開発あるいはバリューアップした収益不動産を投資家に売却する事業の拡大により、セグメント全体で22億円増益。
- ◆ 「完成工事」は、三井ホームの建築請負事業における売上棟単価上昇や販管費削減に加え、リフォーム事業の好調により増収増益。
- ◆ 「仲介・販売受託・コンサルティング」は、不動産投資市場が活性化するなか、特に法人仲介の取扱増や、預かり資産拡大によるフィー収益の増加により、売上高は対前期比12%増、営業利益は同比32%増。
- ◆ 「管理受託」は、売上高、営業利益ともにほぼ横ばい。管理対象物件は順調に増加。一方、オフィス市場の回復によるテナント異動の減少影響で入退居関連工事が減収。
- ◆ 次期も、以下のとおり当期比で増収増益を見込む。

(単位：百万円)

	次期予想	当期実績	増減	(%)
売上高	1,125,000	1,111,359	13,641	(1.2%)
営業利益	122,000	115,764	6,236	(5.4%)
経常利益	100,000	94,637	5,363	(5.7%)
当期純利益	50,000	28,693	21,307	(74.3%)

- ◆ 今後の業績見通しに鑑み、次期の配当(中間・期末)を年10円に増配予定。

以上

<添付資料>

- 1.平成17年3月期決算短信(連結・単体)
- 2.平成17年3月期決算短信 補足説明資料

本日この資料は以下の記者クラブに配布しています。

兜クラブ 国土交通記者会 国土交通省建設専門紙記者会

お問合せ先 三井不動産株式会社 広報部 03(3246)3155
--

注意事項

本資料および添付資料記載の将来の業績の見通しに関する事項につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。